

International Medical Tour in Myanmar



Day

4

Time Schedule

9:30 AAR JAPAN
11:30 ヤンゴン環状線体験
12:00 ミャンマーブラザ&昼食
15:30 輸血センター

こんにちは！IMTスタッフの小川理紗です。4日目は、障害者のための学校、輸血センターなどへ行きました。お昼にはヤンゴン環状線に乗って市場へ行ったり、ミャンマーブラザでご飯を食べたりしました。AAR JAPANでは学びの大切さを知り、環状線や市場ではミャンマー人の暮らしぶりを見て、輸血センターでは衛生環境について考えさせられました。ミャンマーという1国の中で、様々な面を見ることができました。



▲ヤンゴン環状線

ヤンゴン市内をゆっくりと走る電車。この日は数駅で降りましたが、一周すると約3時間かかるそうです。車内は地元の人たちでごった返していましたが、日本の通勤ラッシュとは違った満員電車を体験することができました。近くに座っていた地元の方が気さくに話しかけてくれ、現地の人たちの温かさも感じることができました。窓の外からは子供たちの元気な声や屋台で食べ物を売る地元民の音が聞こえました。車内では小さな子が椅子に膝立ちし、身を乗り出して外の景色を見ていました。暑い国ですが、外から入って来る風は心地よかったです。ホームからは、線路に直接降りることができました。人身事故が絶えない日本ではあまり目にする事ができないので、とても新鮮でした。



▲AAR JAPAN

難民を助ける会が立ち上げた学校で、障害者の就労を支援しています。三か月半で1サークルがあり、洋裁コース、pcコース、理容美容コースの3つに分かれています。先生の多くはこの学校の卒業生であり、自身も障害を抱えていました。授業は少人数で行われ、先生、生徒の距離が近く、温かい雰囲気でした。在学生にお話を聞くこともできました。皆とても謙虚で、家族のために自立したいという強い思いを感じました。このような思いを大切に、障害者支援がミャンマーで根付いてほしいです。

<参加者感想文>「この学校を卒業して、自信がつかました」と語る卒業生、「夢」を語る訓練生の笑顔を見て、AAR JAPANの活動は、技術や知識だけではなく、自信や希望、笑顔など、多くのものを与えていると感じました。この素晴らしい活動に、出来ることから協力したいと思いました。



▲輸血センター

ミャンマー人の血液が多く保管されていました。血液検査の方法がかなり遅れていて、改善が必要だと感じました。ミャンマー人の血中に含まれるヘモグロビンの量は日本人のものと違うことなど、日本との違いについても学ぶことができました。<参加者感想文>輸血センターでは、ミャンマー人は自分が献血をしたことを1つのステータスのように回りに伝えると知りました。この施設においても衛生面で課題があるように見受けられましたが、献血についての意識に関しては、日本人もミャンマー人を見習うべきであるように感じました。



▲市場

地元的生活感を肌で感じてきました。

